

特別企画

東日本大震災への対応



東日本大震災への対応 特別企画にあたって

測技協 技術委員長 島村 秀樹

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、1896年の明治三陸地震の約2万2千人の犠牲者を上回り、国内最悪の津波災害をもたらしました。まさに、我々が経験したことがない未曾有の大災害でありました。

地震発生直後に被害の全容が捉えられないなか、(財)日本測量調査技術協会並びに会員会社は、いち早く、空間情報取得技術を駆使して、被害の把握に努めました。その結果、救命救助及び搜索活動のために、政府対策本部、中央省庁、地方自治体並び関係機関に、最新の被災情報を提供することができました。

しかしながら、このような初動活動はあまり知られておりません。最新の被災情報を迅速に提供することは、人命救助や安全確保につながるため、今回の初動活動を後世に伝えることは非常に重要であり、我々測量技術に携わる者に与えられた使命であります。

そこで、本号では、これらの取組みを技術報告として記録し、今後の大規模災害に資することを目的として、特別企画を組みました。

特別企画の構成は下図に示した通りです。図の左側は災害活動と利用する空間情報を右側には空間情報取得等の関連技術を示し、これらの関係を矢印で結んでいます。各項目にある数字はページ番号です。読者の方に、各技術報告がどの位置づけにあるかを理解していただくことに役立てていただければ幸いです。

最後に、東日本大震災により被災されました皆様に謹んでお見舞い申し上げます。また、被災地の一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

